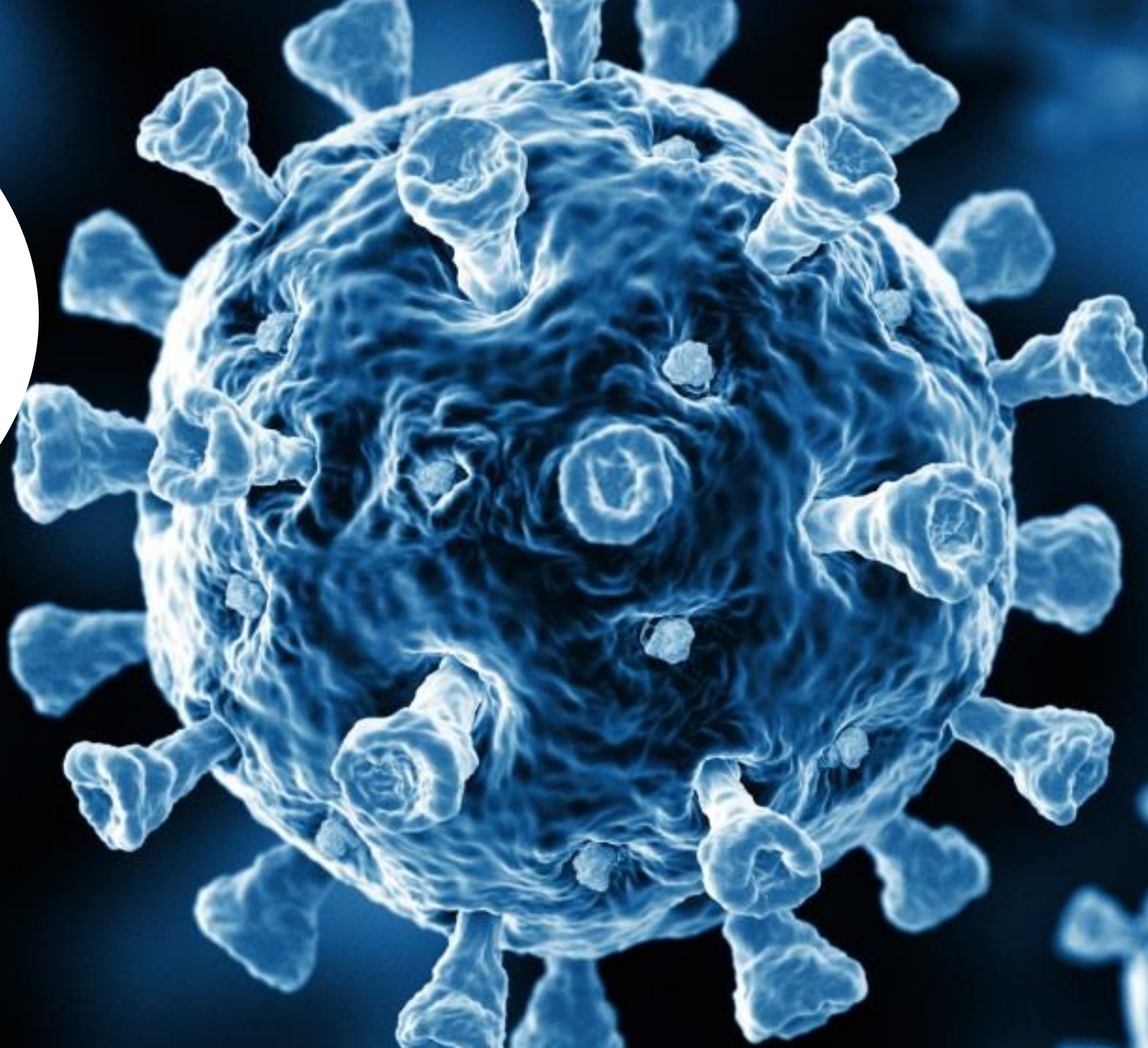


第45回
研究カンファレンス
ハイブリッド開催



2025年のCOVID-19 ： SARS-COV2肺炎として

2025
7/24 木
17:30～18:30

呼吸器センター 5階大会議室

神戸大学都市安全研究センター
准教授

神戸大学医学部附属病院
感染症内科 准教授

大路 剛 先生

講演内容

SARS-COV2はインフルエンザウイルスと異なり、肺炎を起こしやすい事が特徴であり、これは有効なワクチン接種が1年以内でない場合は、以前としてリスクが高い。早期の段階ではウイルス自体による肺障害、後半は宿主の免疫反応によるARDSが呼吸器病態である。一部の液性免疫不全患者では慢性SARS-COV2肺炎となる。予防と治療はウイルス曝露を減らすこと、定期的な予防接種、早期のウイルス薬投与と過剰炎症のコントロールがカギである。



申込方法

二次元コード又はURLよりお申込みください。

<https://forms.gle/LTAMLLnkgzwfKKjp6>

